

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 香南市立佐古小学校 ] 担当教諭名 [ 岡林 貴美恵 ] ( 6年1・2組 38名 )

相手国・地域 [ カナダ ]

海外学校名 [ Wyevale Central Public School ] 担当教諭名 [ Jim Carleton ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界の課題と地球の未来について考えよう	56

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Building A Sustainable Future Together 持続可能な未来を共に創る
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	世界には様々な課題があることを知った。豊かな自然や資源があり、この先も住み続けられる地球にするために、それらの課題を全員が自分のこととして捉え、よりよい環境になるように取り組んでいきたい。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
地球の未来について考えたことのない児童が多かったが、SDGsについて学び、世界に目を向けることで、身の回りの課題や世界の課題、住みやすい環境などについて積極的に考えるようになった。	課題を認識し、自分たちにできることを考えることはできたが、取組を広げることではできなかった。また、お互いの国の休暇が異なったり、新型コロナウイルスの影響で休校になったり、行事と重なるなど、時間の確保が難しかった。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
取り組む前は、海外に対する意識を持っている児童はほとんどいなかった。しかし、相手国について調べたり、交流したりする中で、カナダを身近に感じ、国土や気候、文化などに興味を持つようになった。	交流を進めるにあたって、自分たちが世界の国々の良さや課題などを知ることが重要だと感じ、これまで以上に世界に目を向けるようになった。また、日本の文化や現在の状況についてもしっかりと理解をする必要があると感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月	カナダとの交流に向けて、カナダのことについて調べた。自己紹介の写真を送った。	インターネットを中心に調べ学習を進めた。カナダとの交流は、まだ実感が少ない様子だった。	総合8
共有 テーマ学習	6月～ 10月	SDGsについて知り、身の回りの課題や世界の課題について各自調べ学習を行った。全体で考えたいテーマを決め、それについて班で調べ学習、まとめを行った。また、まとめたものはカナダの学校とお互いに送り合い、課題に対するイメージの共有を図った。	戦争や貧困で苦しむ国があることはもちろん、日本にも様々な課題があることに驚いていた。	総合25
融合 メッセージ作成	11月	世界に向けて発信したいメッセージをクラスごとに考え共有し、学習したことを各班で絵に表現した。カナダとの合意を図りながら、児童の絵から壁画のデザイン案を考えた。	「住み続けられる世界」をイメージし、調べたことや世界に発信したいメッセージをどのように絵に表現しようかと熱心に考えることができた。	総合7
創造 壁画制作	12月	全員で下絵から色塗りまで進めた。	慣れない画材であったが、児童同士が意見交換をしながら壁画作成を進めることができた。	総合10
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	これまでの学習を想起し、調べ学習やカナダとの交流、壁画作成を経て、自分の考えがどのように変容したかを振り返り、レポートにまとめた。	学習前よりも、課題に対して自分が何をすべきかを考えることができたようになった。また、世界の様々な国に興味を持つ児童が増えた。	総合6

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	相手国の国土や文化だけでなく、相手国の災害や、防災に対する取組について調べる姿が多く見られた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	相手国からの提案や考えについて、初めて知ることが多かったが、見方や立場を変えるとどう感じるか、自分の考えが本当に正しいかなど、問い直すことができた。
主体的に考え行動する力	3	教師の指示を待つことも多かったが、自分の調べたいことを積極的に調べたり考えたりするなど、主体的に学習に取り組むことができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	直接対話することはできなかったが、相手国からの動画を見て何を伝えようとしているのか一生懸命考えながら聞いたり、自分たちの考えをどのように伝えるか考えたりすることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	相手国からの壁画デザインを見たり、自分たちの壁画デザインを送ったりしてやりとりする中で、言葉でなくても、絵に表すことで思いが伝わることを実感していた。